

この街に住んでみたい

熊本を、感性ある街に

街にときめきがないと、なかなか人が集まってくるません。県の行政も、できる限り街づくりにこだわって、たとえば緑化にしても、十年間で緑を三倍に増やす計画を立て、道路ごとに担当者を決めたり、徹底的に取り組んでおりますし、電線の地中化は勿論ですが、全国でも最もきびしい景観条例をつくりました。また、文化振興基本条例という、東京都に訓示規定的なものがありますが、実質的に全国で初めての文化条例をつくったり、屋外広告物条例なども全国で一番きびしく改正しまして、とにかく街づくりということに関して、いろんな角度から取り組みをしています。だんだん効果が出てくるんじゃないかと思っています。

〈「コンパス」編集長知事対談より〉



熊本が大阪や東京になれるわけもないし、かといって福岡みたいな商業都市になりたいともあまり思っていないですね。いふならばアーティスティックなインテリジェンスやときめきを感じさせる、感性のある街でもいっしょでしょうか。幸いなことに、例えば緑にしても比較的豊かにあるので、それをもっともっと増やすように「緑の三倍増計画」をたてたり、必死になつて緑、緑とわめいているわけなんです。

つまるところ街づくりだと思つたんですね。本当に魅力的な、住んでみたいと思つような街ができるかどうか勝負なんですかとやっているとわかんないです。

〈ウイングス編集長知事対談より〉

K U M A M I O T O